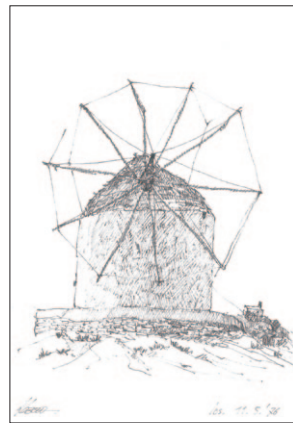


## —第14編— 住み手が設えた集落の街並み

エーゲ海の南、キクラデス群島<sup>\*1</sup>の一つにイオス島がある。サントトリーニ島の北方に位置する、100kmほどの小さな島だ。このような島は数多く点在するが、ここは崖地が多くその周辺を白いビーチが囲む。島々を船で乗り継いで気ままに訪れるのが良い。崖地ゆえに階段や坂道が多く、歩き回ると視線の変化を楽しむことができる。そんな島の頂上には前史時代の遺跡が鎮座し、かつて水を汲みあげていた風車をいくつも見ることができ<sup>2</sup>る。

集落の中に入っていくと、キクラデスの居住文化の先験的イメージを辿ることができる。住民が塗り込める白カベージュの漆喰の壁。そして青い窓や扉の罫戸。決して定規や水糸を使って作業をしたのではない、フリーハンドのいい加減さが目



図版 14-1 イオスの風車



写真 14-1 集落の一角



写真 14-2 白く塗り込められた路地

に心地よい。道路との入隅などきちんと塗り分けしないで白が余る。それがさらに道や階段にまで達すると、あとはまことに塗ってしまえ、となったのではないかと想像してしまう。

今でこそ、高反射性塗料<sup>\*3</sup>の熱的効能が科学的に分析され、パッシブな微気候制御の仕上げ材料として推奨されるが、キ

\*3  
反射性能の高い塗料で  
屋根等の表面温度を下  
げる技術

クラデスの職人や住人達は、時を経た経験によってそれを身体的に理解していたに違いない。そして、青い空と海とのコントラストが美しいことも。さらに、踊り場に泉のある葛折れの階段など、そこにみずみずしい緑が影を落とし、集落の意外で魅力的なアイスポットを形成する。

島の行く先々でそれやこれやの日常を彩る、身体性豊かな街並みのしかけや工夫に遭遇した。まさに長い時を経て作り上げられてきたキクラデス諸島における、バナキュラーなまちのデザインのお手本である。



写真 14-3 踊り場の水飲み場